

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2016年10月調査結果-

調査要領

- 調査期間 2016年10月7日～27日
- 調査対象 200社
- 回答企業 104社
- 回収率 52.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の10月の状況を見ると業況DIは、前月より6.0ポイント回復の▲17.3。

2014年4月以来31ヶ月連続マイナス水準で推移している。

業種別では、建設業、製造業、卸売業、サービス業の4業種において回復した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲18.3と当月に比べ1.0ポイント悪化を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、サービス業で悪化が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2016年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～2017年1月
業況	▲28.0	▲23.0	▲23.1	▲15.4	▲15.4	▲17.3	▲18.3
売上	▲28.3	▲21.8	▲20.0	▲14.5	▲14.5	▲13.4	▲13.5
採算	▲26.2	▲29.1	▲16.2	▲18.3	▲18.3	▲14.4	▲17.3
仕入単価	▲25.2	▲21.1	▲18.3	▲13.5	▲13.5	▲20.2	▲26.0
従業員	24.2	28.5	31.4	29.8	29.8	35.6	29.9
資金繰り	▲ 9.1	▲ 8.3	▲ 5.7	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 5.8	▲10.6

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2016年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～2017年1月
建設	▲ 9.1	▲18.2	▲20.8	▲25.0	▲20.8	▲16.0	▲24.0
製造	▲16.0	▲ 7.7	▲14.3	▲ 3.9	▲12.0	▲ 8.0	0.0
卸売	▲42.1	▲42.3	▲40.0	▲19.0	▲31.9	▲20.0	▲20.0
小売	▲26.7	▲33.3	▲29.4	▲25.0	▲28.6	▲53.3	▲40.0
サービス	▲52.7	▲11.8	▲13.4	▲ 5.9	▲27.7	0.0	▲15.8

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	・新技術の開発等、明るい材料はある。 ・公共・民間工事とも木造建築物が多く、大工不足の状況。工程の遅れや採算にも影響を与えている。 ・春先の工事減少が響き収支は前期を下回っている。工事の完成から資金繰りは順調に推移。 ・技術者の不足。新卒者の確保難。 ・従業員不足
製造業	・前年同様、概ね良好に事業推進している。今後についても同様の見込み。 ・台風の影響で品不足、仕入価格の上昇で、売上が減少したが、社内努力により利益は前年並みを維持。 ・先行き不透明。新規製品の拡販に期待。 ・人手不足で年を経るごとにジャブのように効いてきて経営の一番の問題。 ・高齢化等による人員の自然減がある。従来の採用活動と比べて募集の母数が減少し人材の獲得が厳しさを増している。 ・売上高確保もあるが、見積もりの見直し、工程管理の見える化、改善提案には今は力を入れている。将来に向け筋肉質な体質に整える事を急務と考える。
卸売業	・良い悪いは別に、中心部の百貨店撤退によるテナントの移動等で需要あり。また天候が不安定で早めの冬の訪れが停滞していた葬儀需要に影響。同時に品薄が全国的に波及している。価格は下がる気配なし。 ・売上は増加しているが、あまり利益に転換できていない。 ・災害復旧に向け工事発注が増加しているが、以前受注している工事と時期が重複なため、収益に増収には至らないと判断している。 ・原油相場がやや上昇傾向にあり、本格需要期に向かい石油製品全般において販売価格もそれに伴い上昇するものと思われる。
小売業	・仕入れ価格の上昇。 ・西武閉店に伴い買物公園を従来する人々が若干少なくなったように思われる。西武閉店セールの影響なのか、冬物商品（アウター関係）購入客（特にフリー客）が全く来店せず、顧客のみの売上のため、前年の売上をキープ出来ず大変苦戦している。
サービス業	・ツアー・団体・高校大会等があり、ネット客増、宿泊単価 UP もインバウンド半減が響き売上 10%減の見込み。 ・昨年と比べ外国人旅行客が減少、コスト上昇から減収減益にいたる。先行き見通しも厳しい状況。外注人件費の圧縮を図る。 ・8 月後半から 9 月にかけて台風、大雨が続き天人峡方面、南富良野方面が通行止めとなり、観光客のキャンセルが相次ぎ激減。道北方面も客足が前年比減と続いており苦戦している。 ・若手技術者不足。台風被害による災害対応のため忙しい時期が続いている。 ・在庫台数が減少している ・野菜の値上げ等、台風の影響が出ている。今後も値上がりが心配。

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	売上 DI7.2 ポイント悪化、採算 DI1.0 ポイント回復、仕入単価 DI1.2 ポイント回復、資金 DI ほぼ横ばい、従業員 DI2.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 4.8 ポイント回復となった。業種別では、総合工事 7 ポイント悪化、設備その他 13 ポイント、建築 12 ポイント回復となった。公共・民間工事とも木造建築物が多く、大工不足の状況。工程の遅れや採算にも影響を与えているとの声も寄せられている。
製造業	売上 DI4.0 ポイント回復、採算 DI24.0 ポイント回復、仕入単価 DI16.0 ポイント回復、資金 DI4.0 ポイント悪化、従業員 DI8.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 4.0 ポイント回復となった。業種別では、金属窯業他 20 ポイント悪化、食料品横ばい、印刷出版 42 ポイント、家具木材 20 ポイント回復となった。台風の影響で品不足、仕入価格上昇（農作物）で、売上が減少したが、社内努力により利益は前年並みを維持したとの声も寄せられている。
卸売業	売上 DI5.9 ポイント悪化、採算 DI17.3 ポイント回復、仕入単価 DI3.2 ポイント悪化、資金 DI4.1 ポイント回復、従業員 DI1.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 11.9 ポイント回復となった。業種別では、機械鋼材 8 ポイント悪化、繊維 50 ポイント、食料品 13 ポイント、その他 11 ポイント回復となった。災害復旧に向けての工事発注が急増しているが以前受注している工事と時期が重複な為、収益の増収には至らないとの声も寄せられている。
小売業	売上 DI18.0 ポイント悪化、採算 DI18.1 ポイント悪化、仕入単価 DI13.4 ポイント悪化、資金 DI12.4 ポイント悪化、従業員 DI11.9 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 24.7 ポイント悪化となった。業種別では、衣料品で横ばい、食料品 67 ポイント、その他 7 ポイント、自動車 25 ポイント悪化となった。仕入れ価格の上昇との声も寄せられている。
サービス業	売上 DI22.5 ポイント回復、採算 DI11.3 ポイント回復、仕入単価 DI4.1 ポイント悪化、資金 DI5.3 ポイント回復、従業員 DI9.4 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 27.7 ポイント回復となった。業種別では飲食 50 ポイント悪化、その他で横ばい、クリーニング 100 ポイント、ホテル 20 ポイント、整備業 50 ポイント、運送 67 ポイント回復となった。野菜の値上げ等、台風の影響が出ている。今後も値上げが心配という声も寄せられている。